

令和元年度第2回
佐渡市地域自立支援協議会
専門部会作業報告

佐渡市地域自立支援協議会

[令和元年度第2回]佐渡市地域自立支援協議会 知的・身体障がい部会報告

<p>開催予定</p>	<p>第1回:9月18日 (第2回:3月12日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)</p>
<p>構成員</p>	<p>岩の平園、第二岩の平園、あんずの家、まつはらの家、愛らんど相川、愛らんど畑野、愛らんど新穂、チャレンジド立野、そよかぜ、佐渡市手をつなぐ育成会、佐渡市身体障がい者福祉協議会、リトルマーチ、佐渡特別支援学校、新星学園、佐渡市社会福祉協議会、障害者相談員、佐渡地域振興局健康福祉環境部、中央福祉相談センター、そらうみ、愛らんど、こもれび、はまなすの家、社会福祉課障がい福祉係</p>
<p>作業内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 強度行動障害がある方への支援について 2. 福祉に携わる職員の資質の向上 <ul style="list-style-type: none"> ○より専門的な知識や技術の研修と情報交換
<p>詳細事項</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 強度行動障害がある方への支援を検討。 2. これまで相談支援・障害福祉サービス事業所新任者研修会を継続して実施してきたが、強度行動障害のある方への支援等、より専門的な知識や技術の研修と情報交換について協議する。

[令和元年度第2回]佐渡市地域自立支援協議会 知的・身体障がい部会報告②

議題①	強度行動障害がある方への支援について
内容・結果	<p>○強度行動障害がある方への支援について、実際にどのような職員体制で支援を行っているか、困りごと等の情報交換を行う。</p> <ul style="list-style-type: none">・マンツーマンでの対応や写真等による視覚での支援等も行っているが、個々のケースで異なるため対応には苦慮している。・在宅の方で通所施設では対応が難しく、受け入れ困難な場合は、家族が付きっきりで支援をしているため負担が大きい。また、平日に通所できたとしても土日は家族の支援が必要なため同様に負担が大きい。行動援護サービスが利用できれば利用者本人の世界も広がり、家族の負担も軽減される。サービスを必要とする方がどのくらいいるかの把握も必要。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none">◆行動援護を行うために必要な研修を佐渡市でも開催してもらえよう、昨年に引き続き県に要望していく。◆強度行動障害PTで情報交換、サービスの需要の把握等を行い、必要な支援について検討していく。

[令和元年度第2回]佐渡市地域自立支援協議会 知的・身体障がい部会報告③

議題②	福祉に携わる職員の資質の向上
内容・結果	<p>○ABA(応用行動分析学)研修等、各法人単位で研修を行っているが、法人以外には情報が入りにくく、研修の機会が限られている。</p> <p>○座学だけでは現場での対応は難しいため、OJT等の実践的な研修が有効。</p> <p>○島外で先進的な支援を行っている施設の見学等の機会があるとよいか。</p> <p>○島内の施設でも、これまで多くの研修を受け、学んできたベテラン職員が行う支援を実際に見ることで学べるのが大きいのではないか。</p>
今後の取組	<p>◆佐渡市や各法人で研修の情報があれば、法人を超えて情報交換を行い、職員がより多くの研修に参加できる機会を増やし、佐渡全体の支援の力を上げていく。</p> <p>◆ABA研修を佐渡市でも継続して開催してもらえるよう要望していく。</p> <p>◆島内施設間の情報交換、見学等を積極的に行い、法人を超えて横のつながりを作っていく。</p>

[令和元年度第2回]佐渡市地域自立支援協議会 就労支援部会報告

開催予定	第1回:7月30日 第2回:2月26日
構成員	佐渡公共職業安定所、佐渡地域振興局健康福祉環境部、佐家連、身障協、育成会、新潟県新星学園、さわやか、相川岩百合、サウスクラブ、愛らんど相川、愛らんど畑野、愛らんど新穂、チャレンジド立野、あんずの家、まつはらの家、真野みずほ病院、佐渡市社会福祉協議会、はまなすの家、さど、愛らんど、こもれび、そらうみ、佐渡市社会福祉課障がい福祉係、あてび
作業内容	雇用の拡大に向けた取り組みについて。
詳細事項	これまでは佐渡市雇用促進協議会と連携して障がい者雇用の啓発、また、雇用の拡大に向けて佐渡市職場実習事業等について検討してきたが、さらに雇用を拡大するために佐渡市独自の障がい者雇用に関する表彰制度の導入についても協議する。

[令和元年度第2回]佐渡市地域自立支援協議会 就労支援部会報告②

議題①	雇用の拡大に向けた取り組みについて
内容・結果	<ul style="list-style-type: none">・平成31年4月より、「中小企業における障害者支援担当者に対する支援」の実施が義務付けられた。 →企業を訪問し、支援担当者への助言等を実施。・佐渡市独自の障がい者雇用に関する表彰制度について。 →企業の雇用に対しての意識の向上や当事者の意欲の向上に効果が期待できるが、対象企業・対象者がどのくらいいるのか等の調査が必要ではないか。また、実際に県や商工会で行っている制度は選考要件が厳しいため、選考要件についての検討が必要との意見が出る。・「障がい者雇用の拡大に向けて必要なこと、できることって何だろう？」をテーマにグループワークを行い、必要な制度や取り組みについてアイデア出しを行った。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none">・雇用の拡大に向けて、ハローワークや雇用促進協議会と連携し啓発活動等について協議していく。また、表彰制度についても継続して検討していく。・グループワークで出された課題や案を精査し、今後の協議会で検討していく。

[令和元年度第2回]佐渡市地域自立支援協議会 精神障がい部会報告

<p>開催</p>	<p>第1回 7月29日、第2回 2月19日</p>
<p>構成員</p>	<p>佐家連、真野みずほ病院、こもれび、さわやか、相川岩百合、サウスクラブ、障がい者就業・生活支援センターあてび、佐渡市社会福祉協議会、佐渡地域振興局健康福祉環境部、両津支所、相川支所、羽茂支所、佐渡市健康推進室、社会福祉課障がい福祉係、高齢福祉課、そらうみ、愛らんど、利用者、相談支援事業所さど</p>
<p>作業内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 包括ケアシステムについて(第1回) 2. 病院と地域をつなぐ連絡会(第1回) 3. 福祉に関する「ワンストップ相談窓口」について(第2回) 4. 佐渡市障がい者基幹相談支援センターについて(第2回) 5. 精神障害者地域移行・地域定着事業について(第2回) 6. 当事者の居場所づくりについて(第1回、第2回)
<p>詳細事項</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 佐渡市における精神障がい者版地域包括ケアシステムについて事例をもとに、「困る事は何か」「QOLを向上する為に地域包括ケアシステムをどう活用できるか」「佐渡市にどのようなサービスがあるとよいか」などを、グループで検討した。

詳細事項

・地域とかかわりが少ない、自分から発信できない人に対して、民生委員や近所の人気づいて行政につなげる。また、今関わっている人や機関などで課題に気づいた人が次につなげ、つながった人ができる事をやる事が必要。

(佐渡市にほしいサービス)

・24時間365日、困った時はここにいえばいい、できれば精神障がい者の窓口があればいい。その為には支援者にも地域包括ケアシステムの仕組みを知ってもらい、相談があればうまく対処してほしい。

・病院に行けない人には受診専用のタクシー、医師の往診、インターネット受診

2. 病院と地域をつなぐ連絡会について

ケースの情報を共有できるツールの説明。

3. 福祉に関する「ワンストップ相談窓口」について

佐渡中央地域包括支援センターより、事例を紹介しながら内容や流れなどの説明。

4. 佐渡市障がい者基幹相談支援センターについて

基幹相談支援センターより、業務内容の説明。

詳細事項

5. **精神障害者地域移行・地域定着事業について**
佐渡地域振興局地域保健課より、令和元年度の事業の実施状況について説明。
6. **当事者の居場所づくりについて**
居場所に求めるものをグループで検討。(第1回)
お金がかからない。食事、親子・家族での利用、入浴、おしゃべり、勉強などできるとよい(第1回)
居場所の会場として真野みずほ病院宿舎利用の案がでた為、第1回での意見をもとに、真野みずほ病院と当事者の居場所づくりについて協議し、トラブル時の連絡対応、主体などの課題があがり、まずは試行的に家族会「しゃべってみんかっちゃ」の時間を活用して試行する案が提案されたことを報告。(第2回)
「しゃべってみんかっちゃ」活用した試行的実施案ををもとにGWで、当事者の居場所づくりに関する考えられる課題、それに対してのアイデアなどの意見交換。(第2回)

[令和元年度第2回]佐渡市地域自立支援協議会 精神障がい部会報告②

<p>議題</p>	<p>当事者の居場所づくりについて</p>
<p>内容・結果</p>	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施する上で、スタッフの配置はどうか。ボランティア、専門的なスタッフ ・事業主体をどうするのか ・必要な財源の確保について ・トラブル時の連絡体制、対応方法 ・当事者のニーズ把握→アンケートを実施
<p>今後の取組</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 当事者の居場所づくりについて 来年度以降、当事者に向けてアンケートを実施し、ニーズを把握する。その結果を踏まえ、来年度試行的にでも実施できるように協議していく。 2. 佐渡市の精神保健分野の福祉サービス・事業について 現在ある福祉サービスや事業を整理し、不足しているサービスを検討していく。 精神障がい者版地域包括ケアシステムの周知。

[令和元年度第2回]佐渡市地域自立支援協議会 ひきこもり支援部会報告①

開催予定	第1回:5月21日 第2回:7月23日 第3回:11月28日
構成員	NPO法人エコひびき佐渡、アフタースクール、KHJにいがた「秋桜の会」佐渡支部、佐渡地区高等学校長会、佐渡保健所、佐渡市社会福祉協議会、佐渡市教育委員会、両津支所福祉保健係、相川支所福祉保健係、羽茂支所福祉保健係、市民生活課健康推進室、社会福祉課障がい福祉係、子ども若者課子ども若者相談センター
作業内容	<ol style="list-style-type: none">リーフレット「大切なあなたへ」の周知・活用 ○リーフレット「大切なあなたへ」を周知し、活用する事例検討 ○事例の検討と共有化
詳細事項	<ol style="list-style-type: none">前年度から取り組んでいたリーフレット「大切なあなたへ」が完成したので広報等でお知らせする。また、リーフレットの活用方法について協議し、活用する。具体的な事例に基づき、対応策などについて検討、共有する。

[令和元年度第2回]佐渡市地域自立支援協議会 ひきこもり支援部会報告②

議題①	リーフレット「大切なあなたへ」の周知・活用 (リーフレット「大切なあなたへ」を周知し、活用する)
内容・結果	佐渡市広報(HP、ライン、フェイスブック、市報)、新潟日報、佐渡テレビで周知した。 また、佐渡市の窓口にチラシを掲示した。 行政サービスセンターの窓口で、チラシをみてリーフレットがほしいという問い合わせがあった。また、新潟日報の記事をみて、島外から島内の家族のことで問い合わせがあり、内容を聞き取り、関係機関につなげたケースもあった。 相談者が不安を感じている時に見せ、渡すこともできた。
今後の取組	来年度も引き続きリーフレット「大切なあなたへ」の周知をしていき、簡易版の作成も検討する。 リーフレットの内容を佐渡市のHP等に掲載する予定だが、掲載機関の個人情報に注意が必要となり、再度見直しが必要である。

[令和元年度第2回]佐渡市地域自立支援協議会 ひきこもり支援部会報告③

議題②	事例検討 (事例の検討と共有化)
内容・結果	具体的な事例について、どういった対応ができるか、またどうしたら良いか検討を行った。問題点を洗い出し、対応策を検討しながら部会で共有した。関係機関と連携して対応することが大切だということも改めて認識できた。
今後の取組	事例を通して自立に向けての動きを聞くと嬉しくなる。どうやったら当事者と家族につながるか、適切な機関につなげることができるか、引き続き検討していきたい。「大切なあなたへ」を活用し、関係機関との連携づくりにも取り組んでいく。

[令和元年度第2回]佐渡市地域自立支援協議会 療育支援部会報告①

開催予定	第1回:8月1日 第2回:9月17日 第3回:12月5日
構成員	佐渡総合病院小児科医師、当事者団体代表、中央児童相談所、佐渡保健所、新潟県新星学園、佐渡特別支援学校、教育委員会、小学校・中学校校長会・佐渡ことば・こころの教室、放課後等デイサービス愛らんどえがお、障害児相談支援事業所、市民生活課・社会福祉課・子ども若者課・子ども若者相談センター
作業内容	1. 相談支援事業所の役割を知る 2、教育・医療・福祉・就労をつなげるために
詳細事項	1. 児童が福祉サービスを使うため、サービス提供の方法を支援者が知り伝えることが的確にできるようにする。 2. 児童の成長に伴い、必要なことが変わってくるので連携体制を作る。 3. ひまわりファイルが適正に活用されるよう周知する。

[令和元年度第2回]佐渡市地域自立支援協議会 療育支援部会報告②

<p>議題①</p>	<p>①保護者家族への支援②連携の在り方③データの集約や活用④支援者が特別支援を学ぶ(保育・教育・施設等)</p>
<p>内容・結果</p>	<p>①基幹センターの活用と意義 * 開かれた島→地域の人が理解し、温かく育てる</p> <p>②ケース会議が簡単にできる仕組み作り * データの共有化(シートの共通化) *スピーディなケース会議</p> <p>③ひまわりファイルのデータベース化、ファイルの利用拡大 * 共通のフォーマットを作成する * 成長過程に合わせての連携</p> <p>④研修会の強化 * リーフレットの作成と配布 * 教員、保育士の研修会</p>
<p>今後の取組</p>	<p>保育・教育・施設での特別支援の対応の強化 教育・医療・福祉・就労の連携のための仕組みをつくる</p>

[令和元年度第2回]佐渡市地域自立支援協議会 相談支援部会報告

<p>開催予定</p>	<p>第1回:5月22日 第2回:10月15日 第3回:2月20日</p>
<p>構成員</p>	<p>障がい者就業・生活支援センターあてび、愛らんど、新潟県新星学園、佐渡地域振興局健康福祉環境部、さど、はまなすの家、こもれび、そらうみ、佐渡市社会福祉課障がい福祉係</p>
<p>作業内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本年度の相談支援体制について <ul style="list-style-type: none"> ○相談支援・障害福祉サービス事業所初任者研修について ○今年度の相談支援体制について 2. 交流活動の充実について <ul style="list-style-type: none"> ○障害者芸術・文化祭佐渡会場の開催について 3. 高齢福祉分野との連携強化
<p>詳細事項</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今年度の相談支援体制と人材育成について内容を検討。継続して相談支援のみでなく、市内障害福祉サービス事業との連携を行っていく。 2. 本年度開催の障害者芸術・文化祭の開催内容について確認を行う。また、相談支援部会の構成メンバーを中心に実行委員会を立ち上げていく。

[令和元年度第2回]佐渡市地域自立支援協議会 相談支援部会報告②

<p>議題①</p>	<p>本年度の相談支援体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○相談支援・障害福祉サービス事業所初任者研修について ○今年度の相談支援体制について ○サービス等利用計画作成等における効率化と今後の流れ
<p>内容・結果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今年度の相談支援体制と人材育成について内容を検討。継続して相談支援のみでなく、市内障害福祉サービス事業との連携を行っていく。 2. サービス等利用計画の作成にあたっての事務処理等を効率化し、サービスの円滑な進行に取り組む。 3. 相談支援・障害福祉サービス事業所初任者研修について
<p>今後の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス受給に関しての運用を検討し、利用者のスムーズな利用をすすめていく。 ・サービス等利用計画作成が円滑に行われるよう、受給者証の運用、サービス支給量の調整などについて市内事業者が確認しながら行っていく。 ・例年通り、年2回の初任者研修を開催。基幹相談支援センターと相談支援部会で連携して企画・運営を行っていく。令和2年度の開催予定は、情勢を勘案し6月・10月。

[令和元年度第2回]佐渡市地域自立支援協議会 相談支援部会報告③

議題②	文化交流活動の充実について ○障害者芸術・文化祭の開催について
内容・結果	<ul style="list-style-type: none">・今年度は、全国障害者芸術・文化祭が新潟県で開催される。 佐渡においても会場を設けて、イベントや展示を行う。 （展示会場：9/1～あいぽーと佐渡、佐渡版画村、榮法寺、市内商店 他）・作品が必要になるため、事業所や在宅で創作活動を行っている方の情報を、相談支援部会が市と協働して集約してく。・展示については、新潟県、佐渡市、アールブリュット・サポートセンターと協力し、各施設の力も借りながら行っていきたい。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none">・作家、作品の情報集約。・各施設での創作活動の促進。・企画・運営の分担。・新潟県との連携。